

トピック 全国学力・学習状況調査の活用充実に向けて

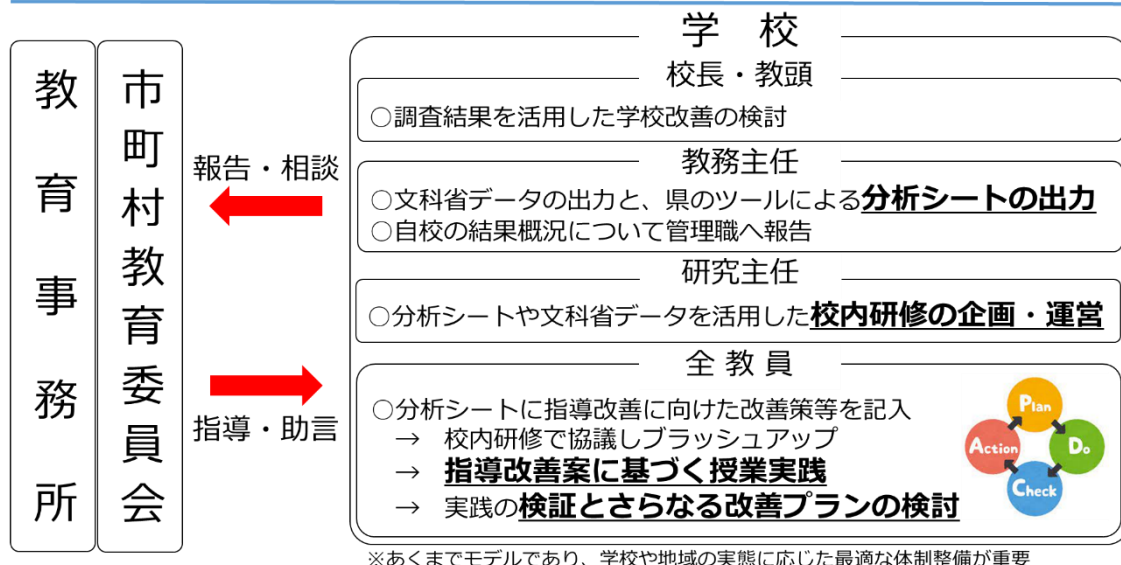
全国学力・学習状況調査を活用した学力向上のための取組についてのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組を進めるためのチェックシートを例示します。
各学校の実態に合わせて活用してください。

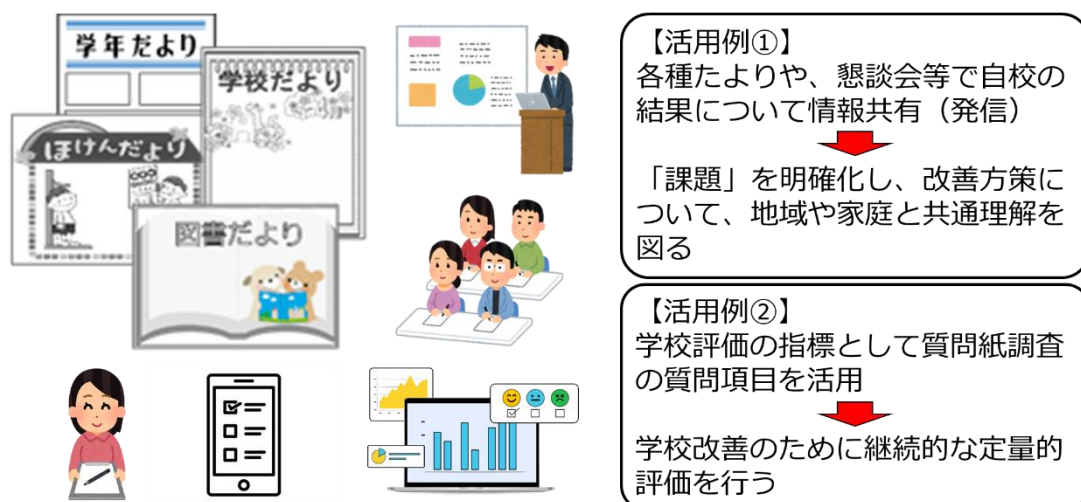


No.	チェック項目	☑
管理職としての取組		
1	調査結果の周知や改善の取組を学校全体で行うことができるような体制を整えた。	
2	教務主任や研究主任等と連携し、調査結果を職員全体で確認させ、課題を明確にした。	
3	教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にした。	
4	教科に関する調査と質問紙の調査結果を学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にした。	
5	保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行った。	
6	保護者や地域と協力・連携して、調査結果を活用した取組を行った。	
教務主任、研究主任等としての取組		
7	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
8	分析ツールを総セ Web サイトからダウンロードし、4 種類の分析シートを作成した。	
9	印刷した分析シートを、活用しやすいように保管している。	
10	教科に関する調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
11	質問紙調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
12	報告書や授業アイディア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知した。	
13	調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにした。	
14	校内研修等で、分析シートを活用して職員全体で分析できるようにした。	
全職員に関わる取組		
15	教科に関する調査の問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
16	調査後に、児童生徒の解答を確認または採点し、実態を把握した。	
17	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。（結果提供前）	
18	教科に関する調査の自校の結果を確認した。	
19	質問紙調査の内容と自校の結果を確認した。	
20	S-P 表を活用し、実態に即した指導方法の検討をした。	
21	分析シートの活用の仕方について、「令和 4 年度 学力向上の手引き」を参考にした。	
22	「教科・質問紙分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
23	「経年分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
24	「誤答分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
25	「クロス集計シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
26	教科指導について関係する学年間や教科担当で課題を共有した。	
27	教科指導について検討した改善方策を基に授業を実践した。	
28	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、授業改善の方策を検討した。	
29	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、学級経営の改善方策を検討した。	
30	検討した改善方策を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
31	分析シートを基に学校全体の改善方策と実践について振り返り、次年度の取組に生かした。	
32	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考にしている。	
35	「令和 4 年度 学力向上の手引き」を指導改善の参考にした。	
36	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
37	「学力向上通信 COMPASS」を指導改善の参考にした。	

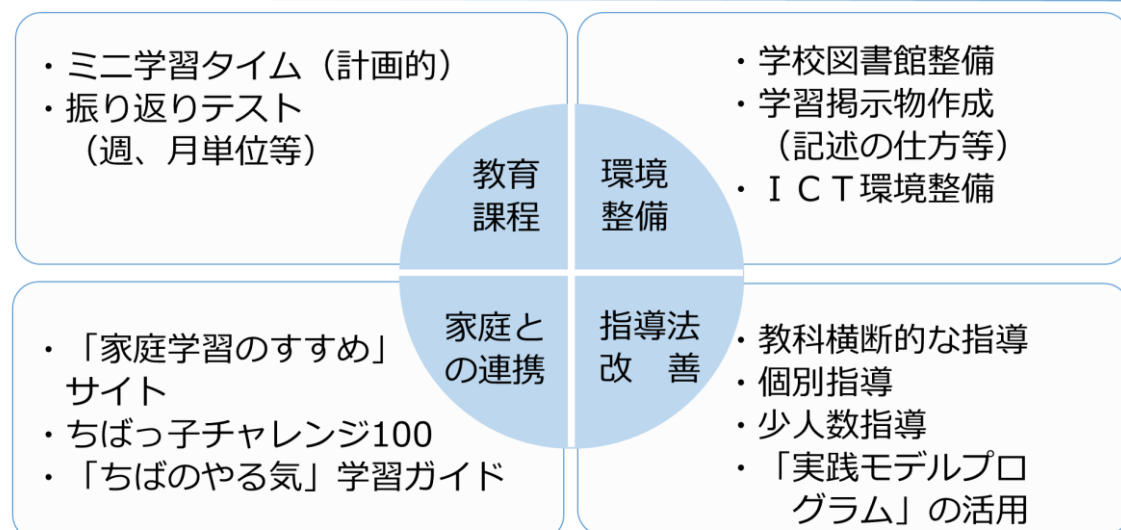
全国調査の分析・活用に係る校内体制の整備



地域・家庭との連携や学校改善に向けた活用例



記述の力を付けるための取組例



結果分析の流れ

① 分析シートの作成



② 報告・連絡



③ 協議・研修



校内研修の実践例【児童生徒の誤答分析】

【事前準備】

「誤答分析シート」を出力し、課題となる設問のシートをピックアップ

例えば「**誤答である解答類型の反応率**」や「**無解答率**」が高い（**10%以上**）の設問など
学校の実態に応じて選ぶ

「**解答類型**」とは？ → 児童生徒の解答を類型化して、ナンバリングしたもの
「**反応率**」とは？ → 各類型の解答をした割合（正答か誤答かによらない）
「**誤答である解答類型の反応率**」が高い設問の例

解答類型 No	解答内容	反応率 (%)	正答
1	条件①、② を書いているもの	54.2	◎
2	条件①は書いているが、②を書いているもの	7.6	
3	条件②は書いているが、①を書いているもの	21.2	
...	...	...	
99	上記以外の解答	11.3	
0	無解答	1.5	

誤答である解答類型
の反応率が10%以上
↓
同じ考え方で、誤答
している児童生徒が
多い
↓
改善方策が必要

【校内研修の流れ】

- ① 問題分析
各教員が問題を解き、出題内容や出題意図を把握する
- ② 自校の結果の確認
解答類型ごとの反応率の状況を確認し、**課題を明確化**する
- ③ 誤答分析（グループワーク）
児童生徒が「**どのような考えで誤答したのか**」を考察する
→課題改善のために「**どのような手立てが必要か**」を考察する
→各グループでの分析を全体でシェアする
→指導改善に活用できるよう「誤答分析シート」を完成させる
- ④ 改善方策に基づく取組の実践
授業改善、家庭学習の支援（ICTの活用など）
- ⑤ 改善方策に基づく取組の実践の評価
児童による自己評価や、校内授業参観による相互評価による検証
- ⑥ 次年度へつなげる
さらなる改善方策の検討や、校内研究のテーマへの反映

分析・活用に役立つ資料

文部科学省 国立教育研究所 発行
解説資料 報告書



県教育委員会 発行
授業改善
リーフレット 学力向上通信
COMPASS

